

中部森林研究

第50号

平成 14 年 2 月

2002

日本林学会中部支部

目次

◎：論文，○：報文，*：講演のみ

二十一世紀の森林研究	1
山地環境防災研究所長 北澤秋司	
▶ 造林・立地 ◀	
◎ カラマツ葉の水分特性の時期変化	5
小澤久美子・川崎圭造（信州大農）	
◎ カラマツの枝張り	7
朱 海英・川崎圭造（信州大農）	
◎ シデコブシ自生地 of 保全に関する研究	9
—湿地植物群落構成種の萌芽更新について—	
川嶋英輔・林 進・椿 浩然（岐阜大農）	
◎ シデコブシの生育環境に関する研究	13
—愛知県犬山市八曾における事例—	
倉橋 自・林 進・野尻智周・椿 浩然（岐阜大農）	
◎ カラマツ密度試験地における優勢木の分散構造	15
山口博央・川崎圭造（信州大農）	
* 低標高域に残存するブナ林の林分構造および更新状況	
小谷二郎（石川県林試）	
* マングローブ二次林における相対成長関係の樹種分離	
小林正典・Sasitorn Pongparn・加藤正吾・小見山章（岐阜大農）	
◎ 高齢ヒノキの樹高成長	17
古川 仁（長野県林総セ）	
* 人為的攪乱のない赤沢ヒノキ老齢林の動態	
浅井孝博・星野大介・山本進一（名大院生命農）	
◎ ヒノキ稚樹の枝張り	19
清水裕子・川崎圭造（信州大農）	
* 斜面上におけるヒノキの根密度分布	
大根瑞江・松岡良治・加藤正吾・小見山章（岐阜大農）	
○ 林内と裸地に植栽されたブナ幼樹の成長差と葉形変化	21
小山泰弘・畠山竜哉・片倉正行（長野県林総セ）	
* イヌマキとアカマツにおける光防御機能の季節変化	
加藤万季・村松伸也（静岡大農）・韓 慶民（森林総研）・角張嘉孝・向井 譲（静岡大農）	
* スギの冬期針葉に蓄積するロドキサントンの光防御機能について	
向井 譲・村松伸也・加藤万季（静岡大農）・韓 慶民（森林総研）・角張嘉孝（静岡大農）	

◎ 針広混交林育成試験	23
—初期の除伐が林木の成長と形状に及ぼした影響—	
石田 仁 (富山林技セ)・山田昭仁・藤島文博 (富山森林管理署)	
* 広葉樹が混生するスギ不成績造林地の改良に対する除伐の効果	
横井秀一・井川原弘一・大洞智宏・渡邊仁志 (岐阜県森林研)	
○ 複層林における植栽木の成長試験 (受光伐結果報告)	27
熊崎裕文・銅島 悟 (中部森林管理局名古屋分局森林技術第二センター)	
* 亜高山帯林におけるモミ属稚樹の樹冠形の可塑性と発達	
加藤京子・山本進一 (名大院生命農)	
* 原生照葉樹林の林冠木樹冠下における稚幼樹の出現	
中西敦史・山本進一 (名大院生命農)	
◎ 縹枯山における亜高山帯針葉樹林の更新に伴う細根現存量の変化	29
岩本宏二郎 (森林総研木曾)・石塚森吉・荒木眞岳 (森林総研)	
◎ スズタケ地下茎の広がりと稈の発生状態	31
中本真平・佐々木道子・川崎圭造 (信州大農)	
◎ 大台ヶ原トウヒ林の林床植生と埋土種子組成について	35
田上公一郎・木佐貫博光・武田明正 (三重大生資)	
○ 天然林と人工林における林床植生および埋土種子集団の種組成の比較	37
木佐貫博光・巾 高志・武田明正 (三重大生資)	
* 森林土壌の窒素無機化に対する粒径組成の影響	
図子光太郎 (富山林技セ)	
○ 未熟な土壌条件下における針葉樹人工林の地上部現存量調査	39
大洞智宏・渡邊仁志・中川 一 (岐阜県森林研)	
◎ 35年生針葉樹人工林の植栽木が土壌に及ぼす影響	41
渡邊仁志・井川原弘一・大洞智宏・中川 一 (岐阜県森林研)	
* 二次林における炭素動態に関する研究	
—土壌呼吸速度と樹木位置との関係—	
吉田宗平・山本一清・竹中千里 (名大院生命農)	
◎ 地球温暖化による冠雪害危険地域の変動予測 (I)	45
—長野県の場合—	
森澤 猛 (森林総研木曾)	
* 神奈川県丹沢山地ヒノキの生理活性	
小川匡之・松井健吾・松本知人・吉田耕治・竹中千里 (名大院生命農)・手塚修文 (名大院人間情報)	
* 根圏アルミニウムストレスに対するスギ葉内SODの短期間における応答	
高見智香・竹中千里 (名大院生命農)	
◎ 海洋深層水を添加した基質における外生菌根菌7種の培養特性	49
齋 朋子・奥田章子・松田陽介・中西健一・伊藤進一郎 (三重大生資)	
◎ 四日市市の丘陵地帯に分布するシデコブシの群落構造	53
—旭谷群落の場合—	
武田明正・殿本豊成・木佐貫博光 (三重大生物資源)	

◎ 間伐後のカラマツ林に侵入した広葉樹の処理 (Ⅲ) —広葉樹の成長経過—	57	中森由美子・川崎圭造 (信州大農)
◎ 暖温帯先駆性落葉広葉樹 3 種の開花結実特性	59	吉野知明 (静岡大農)
* 岐阜県の冷温帯 4 地域におけるホオノキ集団のアロザイム変異		中島美幸・横井秀一 (岐阜県森林研)
◎ 応力波伝播速度による精英樹立木の材質評価	63	山本茂弘・池田潔彦 (静岡県林技セ)
* 自家不和合性遺伝子 (S-RNase) の多型解析によるサクラ園芸品種の識別 服部紗代子・加藤珠理 (静岡大農)・横山敏孝 (森林総研多摩)・向井 譲 (静岡大農)		
* サクラの自家不和合性遺伝子 (S-RNase) の DNA 多型分析と集団の遺伝解析の利用 加藤珠理・向井 譲 (静岡大農)		

▶ 保 護 ◀

◎ 静岡県におけるニホンジカとカモシカの分布拡大	65	大場孝裕 (静岡県林技セ)
◎ 長野県南部におけるシカ食害の現状	69	尾上佳子・川崎圭造 (信州大農)
◎ 大台ヶ原におけるニホンジカによる樹木剥皮 —樹種選択性について—	71	安藤正規・柴田叡弑 (名大生命農)
* クマハギ加害個体の特徴 吉田 洋 (岐阜連大農)・林 進・坪田敏男・村瀬哲磨・岡野 司・岡本卓也 (岐阜大農) 山本かおり (岐阜連大獣)		
◎ クマ剥ぎ防護ネットの効果と施工性	75	八神徳彦 (石川県林試)
◎ ニホンザルによる針葉樹造林木の剥皮被害について (Ⅵ) —獣害防止資材のヒノキ造林木剥皮被害防止効果—	77	岡田充弘 (長野県林総セ)
* ナラ集団枯損被害地域における鳥類群集構造 —調査法の検討と 1 繁殖期の調査結果—		矢田 豊・小谷二郎・江崎功二郎 (石川県林試)
◎ ガシノナガキクイムシのブナ科樹種 4 種における繁殖成功度の比較 II —過去の穿入履歴が繁殖成功度に与える影響について— 加藤賢隆 (金沢大理・生態)・江崎功二郎 (石川県林試)・井下田寛・鎌田直人 (金沢大理・生態)	79	
◎ ギャップとその周辺において飛翔するガシノナガキクイムシの空間分布	81	井下田寛・加藤賢隆・鎌田直人 (金沢大院生態)・江崎功二郎 (石川県林試)
* ナラ枯れの分布拡大パターン 鎌田直人 (金沢大理)・江崎功二郎 (石川県林試)・久保 守 (金沢大工)		

◎ ナラ類集団枯損被害林分におけるコナラ・ミズナラ根系について ……………	83
—カシノナガキクイムシの加害程度と外生菌根の形成状況との関係— 奥田章子・松田陽介・中西健一・伊藤進一郎 (三重大生資)	
◎ カシノナガキクイムシの形態の地域間比較 ……………	87
伊藤進一郎・杉浦康雄・松田陽介 (三重大生資)・梶村 恒 (名大院生命農)	
◎ 人工飼料を利用したカシノナガキクイムシの飼育の試み ……………	89
梶村 恒 (名大院生命農)・水野孝彦 (那覇植防)・小林正秀 (京都府林試) ・笹本 彩 (名大農)・伊藤進一郎 (三重大生資)	
* モウソウチクエダフクレフシから脱出した昆虫群集とその脱出消長 柴田毅弐 (名大院生命農)	
◎ タマバチの一種 (<i>Andricus moriokae</i>) の両性世代における生存率と死亡要因 ……………	93
伊藤正仁・肘井直樹 (名大院生命農)	
◎ 伐倒処理による捕食性天敵の誘致がマツノマダラカミキリ羽脱率に及ぼす影響 ……………	97
江崎功二郎 (石川県林試)	
◎ 静岡県におけるスギ・ヒノキのキバチによる変色被害の実態 ……………	99
加藤 徹 (静岡県林技セ)	
◎ 打撃音解析によるアテ漏脂病被害木の非破壊診断の可能性 ……………	101
—ICレコーダーによるサンプリングの検討— 矢田 豊・木村保典・松元 浩 (石川県林試)	
◎ 石川県で発生したレイランドサイプレスの漏脂被害 ……………	103
木本真衣・吉橋秀典 (三重大生資)・矢田 豊 (石川県林試)・伊藤進一郎 (三重大生資)	
◎ 愛知県産スギ精英樹のスギ赤枯病菌に対する抵抗性について ……………	105
吉田和広 (愛知県林セ)	
◎ <i>Raffaelea</i> 属菌に対するブナ科6樹種の感受性の差異 ……………	107
村田政穂・中根阿沙子 (三重大生資)・佐野 明 (三重県科技セ) ・松田陽介・中西健一・伊藤進一郎 (三重大生資)	
◎ コナラに対する <i>Raffaelea</i> 属菌の接種法の検討 ……………	109
中根阿沙子・村田政穂 (三重大生資)・佐野 明 (三重県科技セ)・松田陽介・伊藤進一郎 (三重大生資)	
◎ ブナ科樹木4種の葉における内生菌について ……………	113
内藤俊介・吉橋秀典・松田陽介・伊藤進一郎 (三重大生資)	
* 樹木10種の葉から検出された内生菌の季節変化 吉橋秀典・松田陽介・中西健一・伊藤進一郎 (三重大生資)	

▶ 林政・経営 ◀

◎ 建築業者の住宅性能表示制度への対応に関する研究 ……………	115
—長野県内の中小建築業者を事例として— 中島 真・小池正雄 (信州大農)	
◎ 信州カラマツ製品の需要拡大に向けての取組みと今後の課題 ……………	117
—地域森林資源の維持管理との関わりから— 塩瀬陽三・小池正雄 (信州大農)	

◎ 中国住宅政策の展開構造	121
	劉 芳・小池正雄（信州大農）
◎ ドイツ条件不利地域政策に関する研究	125
—BW州林地平衡給付金制度を事例として—	
	平野暁子・小池正雄（信州大農）
◎ Deforestation and Floods in Cambodia	129
Sophanarith Kim(信州大農)・Nophea Kim Phat(岐連大農)・小池正雄(信州大農)・魚住侑司(信州大農)	
◎ ニュージーランドにおける木材生産国の確立	135
	岡本真知・小池正雄（信州大農）
* 21世紀の国有林の森林づくりへ向けて（提言）	
—段戸国有林を事例として—	
	山本進一（名大院生命農）
* 森林に求められる機能は何か	
—林業関係者のアンケート結果から—	
	井川原弘一（岐阜県森林研）
◎ 明治初期における木曾郡木祖村の土地利用の推定	137
	加藤佳器・中堀謙二（信州大農）
◎ 明治初期の上田地域の土地利用	141
	丸山朋子・中堀謙二（信州大農）
* 愛知県下の民有林における不在村森林所有の現状	
	松本 武（名大院生命農）
◎ モントリオール・プロセスに対応した地域版指標について	143
	松村直人（三重大生資）
◎ An Outline of the Factors Behind Illegal Logging in Cambodia	147
—constraints and prospects—	
Nophea Kim Phat（岐連大農）・Sophanarith Kim（信州大農）・魚住侑司（信州大農）	
・植木達人（信州大農）・Syphan Ouk（DFW）	
* 中国における都市近郊林をめぐる諸課題	
	関 慶偉・魚住侑司・植木達人・王 賀新（信州大農）
* 昭和の森における高解像度MSSの樹種別分光反射特性	
奥山智代・山本一清・竹中千里（名大院生命農）・宮坂 聡・徳村公昭（中日本航空㈱）	
* 航空機搭載型レーザースキャナーデータを用いた立木本数の推定	
高橋典明・山本一清・竹中千里（名大院生命農）・杉盛哲明（東大空間情報）	
・恩田祐一（筑波大地球科学）・村手直明・徳村公昭（中日本航空㈱）	
◎ 地図表示機能を備えた森林・林業データベースの作成	153
—三重県版システムの試作—	
	加藤彰吾・川田伸治・松村直人（三重大生資）
◎ 異なる方式によるカラマツ林の間伐効果	155
—信州大学農学部手良沢山演習林島崎試験地の経過—	
	王 賀新・魚住侑司・植木達人・佐々木賢治（信州大農）

- 葉枯らしの普及に向けた取り組み 161
宗田典大 (石川県林試) ・ 今 哲夫 (石川県羽咋農林)
- ◎ 公園・緑地における自然環境保全型市民団体の活動評価と支援策 163
—名古屋における事例—
玉田裕子・林 進・野尻智周 (岐阜大農)
- ▶ 利 用 ◀**
- ◎ 菌床シイタケの効率的栽培について1 167
—CaCO₃の添加効果と培地の休養温度管理—
竹内嘉江 (長野県林総セ)
- ◎ シイタケならびにヒラタケの菌床栽培における接種方法について 169
—培地と種菌の混合—
武藤治彦・山口 亮 (静岡県林技セ)
- ◎ カラマツ水抽出物を利用したシイタケ原木栽培 173
高島幸司 (富山県林技セ)
- ◎ ハタケシメジ人工栽培に関する試験 177
—ハタケシメジ野生株の選抜—
矢野直人・松田陽介・伊藤進一郎 (三重大生資) ・ 西井孝文・坂倉 元 (三重科技セ)
- ◎ オオイチョウタケ (*Leucopaxillus giganteus*) の人工栽培に関する試験 179
西井孝文・坂倉 元 (三重県科技セ・林研部)
- ◎ エリンギのニンジンに及ぼす影響 181
石田 朗 (愛知県林セ)
- エリンギ栽培の発生不良症状に対する一考察について 185
小出博志 (長野県林総セ)
- ◎ 林道開設等の森林施業と治山ダム工事が溪流水質及び藻類に与える影響 189
山上 悟・澤田篤志・岩城美知子・石川知明 (三重大生物資源)
・ 徳地直子 (京大農) ・ 太田 明・小島永裕 (滋賀森セ)
- ◎ 生物 (珪藻) を指標とした森林伐採時の流域河川環境評価 193
澤田篤志・山上 悟・岩城美知子・石川知明 (三重大生物資源)
・ 徳地直子 (京大農) ・ 太田 明・小島永裕 (滋賀森セ)
- ◎ 葉量および葉のサイズが垂直方向の音の伝播に及ぼす影響の実験的解明 195
加藤靖広・服部重昭・山田容三・近藤 稔 (名大院生命農)
- ◎ 間伐作業における残存木への損傷 197
—人力作業地と機械作業地を比較して—
伊藤克敏 (株式会社館林林業) ・ 林 博道 (信州大演) ・ 井上 裕 (信州大農)
- ◎ 列状複層林の上木伐採にともない発生する残存木の損傷 199
近藤道治 (長野県林総セ) ・ 青柳智司 (長野県諏訪地事)
- ◎ 機械化作業が森林環境にあたる影響 (Ⅲ) 201
—タワーヤーダによる間伐作業が残存木にあたる損傷—
近藤道治・宮崎隆幸 (長野県林総セ)

◎ 間伐作業でヘリコプターを用いるための一考察 203
—木曾谷流域を事例にして—
出口栄也・小池正雄 (信州大農)

○ 近接空中写真を用いた2次元フーリエ変換による単木ごとの樹種判定 205
石川知明・吉田知加・山内規世 (三重大生物資源)・太田 明・小島永裕 (滋賀森セ)

* 高解像度カラーデジタルオルソフォトの作成法の検討
板谷明美・山本進一 (名大院生命農)

* 愛知県奥三河林業地域における森林施業の空間的分布 (Ⅱ)
—東栄町における森林施業の時系列解析—
中澤昌彦・松本 武・近藤 稔 (名大院生命農)

◎ 三重県における自然公園内の施設の利用に関する研究 207
長崎有希・山崎忠久 (三重大生物資源)

○ 都市景観に配慮した電柱の表面装飾 209
山内規世・石川知明 (三重大生物資源)

○ 街路植樹帯の生物の住処としての役割について 213
山出智子・江藤陽介・石川知明 (三重大生物資源)

▶ 環境保全 ◀

○ 天竜川支流におけるイワナの個体群動態と生息環境 217
—イワナは生息環境を選択するか—
柳生将之・宮崎敏孝 (信州大農)

* 粗石付き斜路式魚道の水理模型実験
—粗石の配置と魚類の遡上—
宮園正敏 (岐阜連大農)・戸松 修 (岐阜大農)

○ 土壤微生物活性による植生回復度評価に関する研究 219
—緑化施工地における評価手法の検討—
門田浩子・山寺喜成 (信州大農)

○ 土壤呼吸量を用いた土壤環境評価に関する研究 223
塚原高志・山寺喜成 (信州大農)

○ 伊豆半島南部におけるスギ人工林への希少種ナチシダの侵入状況 227
辻 和明・渡邊良広・村瀬一隆 (東大樹芸研)・池田裕行 (東大千演)
・井出雄二 (東大院農)・佐倉詔夫・齊藤陽子・辻 良子 (東大樹芸研)

○ ニセアカシア幼木の薬剤散布による故殺試験 229
—散布部位と散布時期の検討—
村山保裕 (静岡県林技セ)

◎ 中高年登山者の意識と山岳環境保全との関係 231
—南アルプス北部地域を事例として—
太田和利 (篠ノ井高)・柴田真紀子 (南ア研)

▶ 防 災 ◀

- * ヒノキ林伐採に伴う表層土壌の物理性変化 小野 裕 (信州大農)
- ◎ 電気伝導度の形成過程に関する野外調査と室内実験 235
小林靖和・北原 曜・小野 裕 (信州大農)
- * 落葉広葉樹二次林における林冠降雨配分特性
出口愛子・服部重昭 (名大院生命農)・朴 昊澤 (科学技術交流財団)
- * 森林樹冠構造の変化による遮断蒸発特性の変動
—アカマツ林, カラマツ林, コナラ林を対象として—
鳥羽 妙・太田岳史 (名大院生命農)
- * 東シベリア, アカマツ林, カラマツ林における樹冠上熟収支の季節変動と年々変動
太田岳史 (名大院生命農)・檜山哲哉 (名大院水セ)・T.C.Maximov (IBPC, RAS, SD)
- * 亜高山帯における融雪量の時空間分布の推定
—八幡平赤川流域における事例—
松井健太郎・太田岳史 (名大院生命農)
- * 高標高地域の森林流域における水収支特性
—矢作川源流部における事例研究—
鈴木清敬・服部重昭 (名大院生命農)
- * 森林流域において侵食・運搬・堆積作用が¹³⁷Cs・⁴⁰Kの保持形態に及ぼす影響
—森林土壌に存在する¹³⁷Csの保持形態の変化—
福山泰治郎・竹中千里 (名大院生命農)
- * 根の侵入深さと土壌の物理性について 小幡裕介 (岐阜大農)
- * 大谷崩における植生遷移と土壌の発達
小池葉子・土屋 智・逢坂興宏 (静岡大農)
- ◎ 十津川支流神納川上流部における山腹崩壊地の荒廃分析 237
沼本晋也・林 拙郎・川邊 洋・喜多村和義 (三重大生資)
- ◎ 豪雨洪水時における浮遊砂・掃流砂の流下特性 241
山本 亨・土屋 智・逢坂興宏 (静岡大農)
- * 山岳砂礫堆積地における土石流の発生機構
今泉文寿・土屋 智・逢坂興宏 (静岡大農)
- * 大沢崩れを起源とする土石流の濃度の推定
齊藤雅志・土屋 智・逢坂興宏 (静岡大農)
- ◎ 鈴鹿山系朝明川扇頂部における溪畔林の経年変化 245
藏垣一美・沼本晋也・林 拙郎・近藤観慈 (三重大生物資源)
- ◎ 安倍川上流大谷川における溪畔林の林分構造と微地形 249
重安明子・逢坂興宏・土屋 智 (静岡大農)